

耐震補強により灯台被害を軽減し、船舶交通の安全を守る

【対策】90 航路標識の老朽化等対策

対策概要：航路標識の倒壊、損壊等の被害に対応するため、長寿命化のための整備を着実に実施し、航路標識の老朽化対策を図る。

府省庁名：国土交通省 海上保安庁

【事例】^{に きしろさき}二鬼城崎灯台耐震補強

- 実施主体：国土交通省 海上保安庁
- 実施場所：宮城県石巻市
- 事業概要：灯台が倒壊すると、本土と島の渡航や物資運搬を担う定期船の運航等の船舶交通に支障が生じ、島民生活に影響を及ぼす可能性があった。
灯台の構造弱部を診断した結果、大地震動（震度6強～7程度）に耐えられないことが認められたため、灯台の倒壊、損壊に備えるため、耐震補強を講じた。
- 事業費：2,400万円
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）2,400万円）
- 効果：令和4年3月に発生した福島県沖を震源とする地震では、宮城県及び福島県で最大震度6強を観測し、石巻市では震度6弱を観測したが、耐震補強した本灯台は倒壊、損壊することなく安定した航路標識の機能を維持した。



【過去の事例】

平成23年3月に発生した東日本大震災では、茨城県北茨城市で震度6弱を観測し、大津岬灯台が損壊した。

←損壊した大津岬灯台（茨城県北茨城市）

^{に きしろさき}二鬼城崎灯台

対策後



主な対策



炭素繊維補強対策



防水

塗装

防水・塗装対策